



SDI スイッチャ

ISW-9MX2

リモート (Control Input) 操作通信仕様

—第1版—

梅 沢 技 研 株 式 会 社

目次

リモート (Control Input) 操作通信仕様

1. シリアル通信条件 2ページ
2. LANによる接続 2ページ
3. コマンド表 2ページ
4. 制限事項 3ページ
5. コマンド詳細 3ページ

リモート(Control Input)操作通信仕様

1. シリアル通信条件

RS-232Cによるシリアル通信でリモート制御が可能です。

同期方式	調歩同期式(非同期)
ボーレート	9600 [bps]
データビット長	8 [bit]
ストップビット	1 [bit]
パリティ	なし

2. LANによる接続

TCP/IPプロトコルによるソケット通信でリモート制御が可能です。

通信方式 : TCP/IP
IPアドレス : (デフォルト) 192.168.1.250
サブネットマスク : (デフォルト) 255.255.255.0
ポート番号 : (デフォルト) 10001

3. コマンド表

項目	コマンド (ASCII)	補足	機能
(1)	PWONcr		POWERスイッチをONする
(2)	PWOFcr		POWERスイッチをOFFする
(3)	PW?cr		POWER状態要求
(4)	@x,ycr	x: "0"~"16" y: "0"~"16"	クロスポイントの切り換え
(5)	Rcr		クロスポイントの取得
(6)	Wcr		クロスポイントの記憶

※ "cr" はHEXコード '0D'Hを表します。

リモート(Control Input)操作通信仕様

4. 制限事項

- ・設定モード中は全てのコマンドが無効となります。
 応答データ(ASCII) : NAKcr
- ・連続送信は応答データ受信後、送信して下さい。
- ・異常データ受信時は下記データが送信されます。
 応答データ(ASCII) : NAKcr

5. コマンド詳細

(1) POWERスイッチのON

コマンド(ASCII)
PWONcr

応答データ	
正常応答時	異常応答時
ACKcr	NAKcr

- ・当コマンドを受信することにより、本体がスタンバイ中(POWERスイッチが消灯中)の場合、POWER ONとなります。

(2) POWERスイッチのOFF

コマンド(ASCII)
PWOFcr

応答データ	
正常応答時	異常応答時
ACKcr	NAKcr

- ・当コマンドを受信することにより、本体がPOWER ON中(POWERスイッチが点灯中)の場合、POWER OFFとなります。

リモート(Control Input)操作通信仕様

(3) POWER状態要求

コマンド(ASCII)
PW?cr

- ・ POWER状態を要求します。本体は当コマンドを受信後下記の応答ステータスを送信します。

応答データ (全データ長5byte)

NO.	データ詳細	データ長	出力値
1	ヘッダ部	3	"PW="
2	POWER状態	1	'0' : OFF '1' : 起動中 '2' : ON '3' : OFF処理中
7	データ終了	1	cr

- ・ (例) POWER ON時の応答 : PW=2cr

リモート(Control Input)操作通信仕様

(4) クロスポイントの切り換え

コマンド(ASCII)
@x,ycr
x : "0"~"16" y : "0"~"16"

コマンド詳細

@ [出力番号] [,] [入力番号] [cr]

出力番号は"0"~"16"を指定します。また、最大3桁(例:"016")の指定が可能です。
出力番号"0"はALLの指定です。

入力番号は"0"~"16"を指定します。また、最大3桁(例:"016")の指定が可能です。
入力番号"0"はOFF(映像信号の切断)の指定です。

応答データ	
正常応答時	異常応答時
ACKcr	NAKcr

- ・クロスポイントの切り換えを行います。
- ・本体がPOWER ON時に制御可能です。OFF時は"NAKcr"を返答します。
- ・(例) OUTPUT 5にINPUT 1 2をセットする : @5, 12cr
 上記を3桁指定でセットする : @005, 012cr
 OUTPUT全てのINPUTを7にセットする : @0, 7cr
 OUTPUT 1 4のINPUTをOFFします : @14, 0cr

(4-1)複数のクロスポイントの切り換え

コマンド詳細

@ [出力番号1] [,] [入力番号1] ; [出力番号n] [,] [入力番号n] [cr]

セミコロン

切り換えたい数分セミコロン「;」で繋ぎ、最後にcrを送信します。
指定数は最大16まで可能です。

- ・(例) OUTPUT 5にINPUT 1 2、
 OUTPUT 1 0にINPUT 6、
 OUTPUT 1 5にINPUT 3、をセットする : @5, 12;10, 6;15, 3cr

リモート(Control Input)操作通信仕様

(5) クロスポイントの取得

コマンド(ASCII)
Rcr

- ・クロスポイント状態を要求します。本体は当コマンドを受信後下記の応答ステータスを送信します。
- ・本体がPOWER ON時に応答可能です。OFF時は"NAKcr"を返答します。

応答データ (全データ長66byte)

R [; [OUTPUT1の入力番号] [; [OUTPUT1の入力番号] [; [OUTPUT16の入力番号] [cr
出力番号1～16までの設定されている入力番号を3桁固定で応答します。

(応答例)

R:007;002;009;012;000;008;009;001;002;000;005;012;015;008;011;009cr

(6) クロスポイントの記憶

コマンド(ASCII)
Wcr

応答データ	
正常応答時	異常応答時
ACKcr	NAKcr

- ・当コマンドを受信することにより、現在のクロスポイント状態を記憶します。
これにより、次回POWER ON時、記憶したクロスポイントで起動します。
- ・本体がPOWER ON時に応答可能です。OFF時は"NAKcr"を返答します。
- ・本体がPOWER ON状態のまま、電源を切断した場合、前回起動時のクロスポイント設定で起動します。
- ・POWER OFF処理を行うと、自動的にクロスポイントは記憶されます。

注) 記憶処理実行後、応答するまで、約3秒かかります。それまで、コマンドは送信しないで下さい。